

## 気候情報

### 2012年12月の日本の天候

- 全国的に低温
- 日本海側の降雪量は多かった
- 全国的に降水量が多く、日照時間が少なかった

#### 12月の天気概況

日本付近は数日の周期で低気圧が通過し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置の強まる時期があった。このため、北日本から西日本にかけての日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、特に9日～12日頃と24日～26日頃は北からの強い寒気が流れ込んだ影響で、北日本から西日本にかけての日本海側を中心に広い範囲で大雪となった。北日本から西日本にかけての太平洋側の天気は数日の周期で変わった。沖縄・奄美では、月の中頃に高気圧に覆われて晴れの日が続いたほかは、北からの寒気や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。月平均気温は沖縄・奄美で平年並だったほかは寒気が流れ込んだ影響で全国的に低く、東日本ではかなり低かった。また、北日本から西日本にかけての日本海側の降雪量は多く、北海道では低気圧の影響もあって北海道日本海側・太平洋側・オホーツク海側共にかかなり多かった。日本付近を通過した低気圧と冬型の気圧配置の影響で全国的に降水量が多く、北日本と西日本ではかなり多かった。また、月間日照時間は、東日本太平洋側を除いて全国的に少なく、北日本日本海側と西日本ではかなり少なかった。

上旬：中頃までは日本付近を気圧の谷や上空に強い寒気を伴った低気圧が次々と通過し、終わり頃は冬型の気圧配置が現れた。このため、北日本と東・西日本日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、終わり頃は北日本と東・西日本日本海側を中心に大雪となった。東・西日本太平洋側では中頃までは曇りや雨の日が多かったが、終わり頃は晴れの日が続いた。低気圧の影響が強かった北日本では所々で暴風や大雨または大雪となり、北日本日本海側の降水量は、12月上旬としては統計を開始した1961年以降で最も多くなった。沖縄・奄美では、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く、降水量はかなり多かった。

中旬：はじめと終わり頃は冬型の気圧配置が現れたが、中頃は冬型の気圧配置が崩れ、日本付近を低気圧が通過した。このため、北日本から西日本にかけての日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、特に、北日本日本海側では北日本を通過した低気圧と冬型の気圧配置の影響で大雪となった所があった。北日本から西日本にかけての太平洋側では、中頃に曇りや雨の日があったほかは晴れの日が多かった。沖縄・奄美では、高気圧と低気圧や気圧の谷の影響を交互に受け天気は数日の周期で変わった。気温は、全国的に中頃に南からの暖かい空気に覆われて平年を上回ったが、はじめと終わり頃は北からの寒気の影響で平年を下回っ

た。

下旬：はじめ頃と後半に低気圧が日本付近を通過した後、強い冬型の気圧配置となった。特に、24日～26日頃にかけては強い寒気が流れ込んだため、北日本から西日本にかけての日本海側を中心に大雪となった所があった。低気圧と冬型の気圧配置の影響で、北日本から西日本にかけての日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、西日本日本海側の降水量は12月下旬としては統計を開始した1961年以降で最も多くなった。また、北日本から西日本にかけての太平洋側でも晴れの日が少なく、沖縄・奄美では曇りや雨の日が多かった。

#### 12月の気候統計

月平均気温：東日本でかなり低く、北日本、西日本で低かった。北日本から西日本にかけて平年を1℃以上下回った。沖縄・奄美では平年並だった。

月降水量：北日本、西日本でかなり多く、東日本日本海側、東日本太平洋側、沖縄・奄美で多かった。

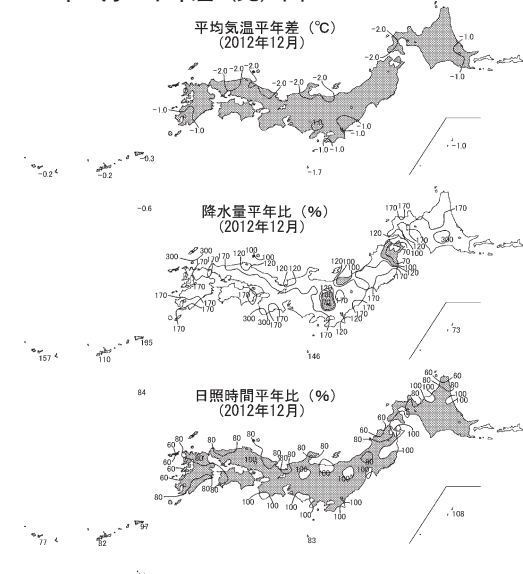
月間日照時間：北日本日本海側、西日本でかなり少なく、北日本太平洋側、東日本日本海側、沖縄・奄美で少なかった。東日本太平洋側では平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

#### 12月の記録（1位更新のみ）

- ・月降水量多い方から (mm)  
網走 175.5 札幌 209.0 など5地点
- ・月間日照時間少ない方から (時間)  
阿久根 71.1
- ・月最深積雪大きい方から (cm)  
紋別 66

#### 2012年12月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。